

北東アジアに非核兵器地帯を 核兵器廃絶への湯川の想いを引き継いで

2007 年の科学者集会は京都で開催される。京都は湯川秀樹博士のゆかりの地であり、また今年には博士の生誕 100 年に当たる。本集会では、博士の想いを引き継ぎ、核兵器廃絶を実現するための具体的道筋の一つとして、北東アジアに非核兵器地帯を設けることを提案し、その実効性ならびに実現可能性について議論したい。またこの 1 年、被爆者たちの原爆症認定訴訟は、各地で目覚ましい成果を挙げた。そこで果たした科学者の役割を確認したい。冷酷な被爆者行政の背景には核兵器使用を前提とする「核の傘」政策があり、被爆者のたたかいは核兵器使用禁止、ひいては核兵器廃絶のたたかいに連なっている。

湯川博士は、戦後、核兵器は人類と共存できないとして、一貫してその廃絶を訴えた。ラッセル・アインシュタイン宣言に署名するにあたり、日本は憲法 9 条によりこの宣言に添えており、その前文に立脚することが、人類が自らを救う途であると強調した。博士は、その想いの実現のために、パグウォッシュ会議をはじめとする多くの場で努力を重ねたが、当時の世界の力関係の縛りは容易には解けなかった。

今日、世界には、5 つの非核兵器地帯条約（ラテンアメリカ地域、南太平洋地域、東南アジア地域、アフリカ地域、中央アジア地域）がある。これらの諸条約では、各地域の諸国が核兵器の開発・製造、実験、保有、使用、配備などを禁止することを約束するとともに、核兵器保有諸国に対して当該地域における核兵器使用ならびに使用の威嚇を禁止する議定書への署名・批准を求めている。これら 5 つの条約には、内容、議定書への批准状況にばらつきがあり、問題点も残されているが、核兵器の使用禁止地域を構築していくという共通の願いが貫かれている。非核兵器地帯条約は、自国とその周辺諸国が非核兵器国であり続けるという「内むけの論理」とともに、核兵器保有諸国に当該地域内の核兵器の使用を禁ずるという「外むけの論理」をもつ。

憲法 9 条改悪の動きは、北朝鮮の「核武装」を扇動的に利用して、ますます激化している。憲法 9 条は、北東アジア非核兵器地帯条約実現の要である。また、我々は、日本の「原子力基本法、非核 3 原則」、韓国と北朝鮮の「朝鮮半島非核化に関する共同宣言」、モンゴルの「1 国非核化宣言」という貴重な拠り所も持っている。現在、6 力国協議という形で朝鮮半島の非核化をめざす動きがあるが、北東アジア非核兵器地帯条約提案はこの動きとも相乗効果を発揮し、この地域の平和秩序構築に貢献するであろう。同時に、我が国における憲法 9 条改悪を阻止する運動と強く連帯することになるであろう。

今年の科学者集会は、湯川博士の核兵器廃絶への想いを継承し、被爆者認定訴訟の成果を受けて、北東アジアの非核兵器地帯化構想に関して集中的に議論する場として計画されている。平和を希求する全国の科学者、市民、学生の皆さん、ぜひこの集会に参加し、核兵器のない平和で公正な世界の実現する方策をともに考えようではありませんか。

2007 年 6 月

原水爆禁止 2007 年世界大会・科学者集会
北東アジアに非核兵器地帯を
核兵器廃絶への湯川の想いを引き継いで
日時：2007 年 8 月 2 日（木） 10 時～16 時 30 分
場所：ひと・まち交流館 京都
（京都市下京区河原町通り六条東側）

プログラム

- 09:30 開場
- 10:00 開会挨拶、歓迎メッセージ
- 10:20 基調講演 浅井基文（広島市立大学広島平和研究所所長）
「朝鮮半島情勢と非核化の課題」
- 11:20 海外代表特別講演
- 12:10 休憩・昼食
- 13:00 講演 坂東昌子（愛知大学、日本物理学会会長）
「湯川博士の想い」
- 13:30 報告 三重利典（弁護士）
「原爆症認定訴訟勝訴に果たした科学者の役割」
- 14:00 シンポジウム
「北東アジアの非核兵器地帯構想をめぐって」
田中則夫（龍谷大学）「非核兵器地帯化構想の説明と問題提起」（20分）
カン・ジョンホン（康宗憲）（韓国問題研究所）「朝鮮半島情勢」（15分）
浅井基文（補足発言）（10分）
司会・進行 望田幸男
（まとめと閉会挨拶）
- 16:30 までに終了

集会のすすめ方

- ・分科会方式ではなく、すべて全体会で行います。
- ・特にシンポジウムでは、会場からの積極的な討論参加を期待します。
- ・質問・発言の予告受けはしませんが、多くの方の討論参加を求めるために、発言時間はひとり3分以内とします。

参加申し込みについて

- ・ 参加希望者は、下記申し込み書の項目を添えて、なるべく E-mail で申し込み下さい。
宛先は aab-scientists@yahogroups.jp です。
Fax または郵送を利用される方は、下記申し込み書をご利用下さい。
- ・ 当日の参加受付も行いますが、集会運営の円滑化のため、事前申込みにご協力下さい。
- ・ 宿泊の必要な場合は、各自でご手配下さい。

参加費について

- ・ 参加費は一般 1000 円、院生・学生、市民は 300 円です（資料代 300 円を含む）。
当日会場受付にて納入して下さい。賛同・支持募金とは別にご協力下さい。
- ・ 募金に参加費を含めたとお考えの方はその旨、受付にお申し出下さい。

原水爆禁止 2007 年世界大会科学者集会 賛同・支持募金について

- ・ 集会成功のため募金活動を行います。
1 口：2000 円（複数口ご協力いただくと幸いです）の募金活動にご協力下さい。
- ・ 送金先： 郵便振替口座 00180-8-86906
口座名 日本科学者会議（通信欄に科学者集会募金とご記入下さい）

原水爆禁止 2007 年世界大会・科学者集会実行委員会

原水爆禁止 2007 年世界大会・科学者集会 参加申込書

Fax ; 075-256-3132

郵送 ; 〒604-0931 京都市中京区二条通寺町東入南館 3 階 日本科学者会議京都支部

氏名：	勤務先等：
連絡先：〒	
E-mail アドレス	
その他、ご意見など	

可能なら、E-mail をご利用ください。

科学者集会会場案内



ひと・まち交流館 京都

〒600-8127

京都市下京区河原町通り六条東側

JR 京都駅より

- ・徒歩：(七条河原町経由) 20分
- ・バス：北側のりば(A2)より、
17、205系統(10分毎に頻発)
河原町正面下車
4系統は五条河原町まで直行
京阪電車「五条」より徒歩8分
阪急電車「河原町」より徒歩10分
地下鉄烏丸線「五条」より徒歩
10分

立体駐車場 最初の1時間400円、
以後30分ごとに200円

科学者集会実行委員会

安齋育郎(立命館大学・平和学)、伊藤武夫(京都支部・経済史)、伊藤達夫(京都府立大学・森林学)、
岩本智之(大阪支部・大気循環論)、大西 広(京都大学・経済学)、加賀美太記(京都大学・経済学)、
加藤利三(京都支部・物理学)、菅原建二(京都支部・微生物学)、杉本通百則(立命館大学・環境論)、
鈴木博之(京都支部・地質学)、宗川吉汪(京都支部・分子生物学)、野口邦和(東京支部・放射線防護学)、
深尾正之(京都支部・プラズマ理工学)、布川 淑(立命館大学・教育社会学)、政宗貞男(京都工芸繊維大
学・プラズマ理工学)、松尾教史(立命館大学・台湾文学)、望田幸男(京都支部・ドイツ現代史)、山口 歩
(立命館大学・エネルギー資源論)、山崎文徳(大阪支部・技術論)、山本正志(京都支部・自治体論)
委員長、事務局次長

2007年6月

原水爆禁止2007年世界大会・科学者集会実行委員会